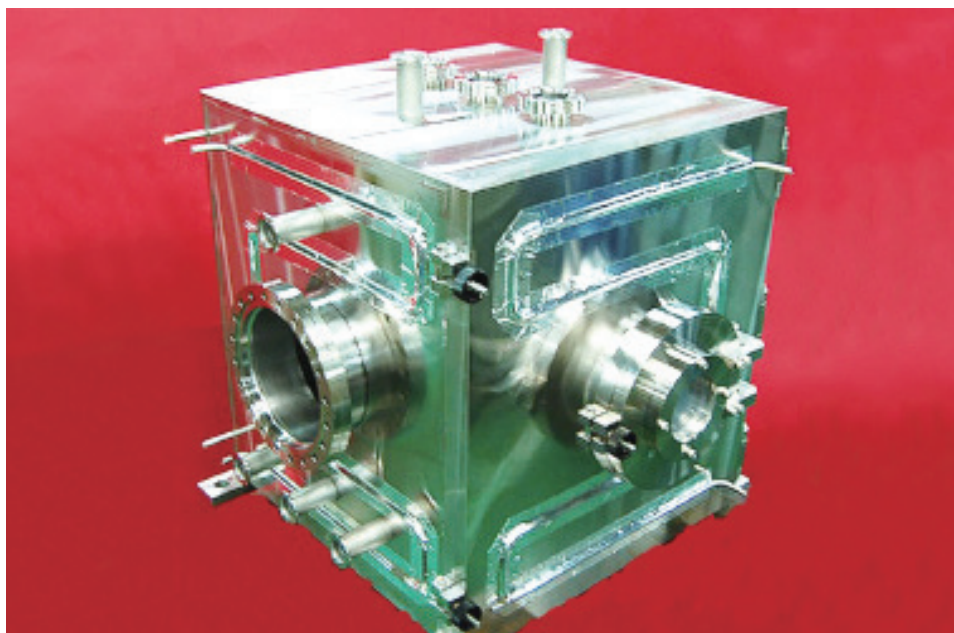


電装精機 株式会社

誠実を胸に、一品モノの
精密部品を短納期で提供納期
相談
企画力
自信有
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット

半導体製造装置や真空装置などの精密部品を得意とする

業務
内容溶接技術でパナソニック
のタイムカプセルに参画

昭和45年の大阪万博を記念して、パナソニック株式会社（当時は松下電器産業）らが大阪城公園に埋めたタイムカプセルの溶接加工に参加した。大企業が協力者として名を連ねる記念誌には、電装精機の社名も刻まれている。研究試作向けを中心に半導体製造装置や真空装置など、一品モノの精密部品を数多く手がけてきた。古くからパナソニックをはじめとする在阪メーカーの開発部門から受注する仕事も多く、国内電機産業の技術革新を支え、一翼を担ってきたのは間違いない。「誠実」を社是に据えた創業者の精神を受け継ぎ、社員が一丸となって日々、技能の研鑽に取り組み、顧客の加工要望に応えている。

強み

旋盤、フライス、溶接の
総合力と熟練工のノウハウ

3代目の古野隆史社長は「精密加工をトータルで提供できるのが強みだ」と胸を張る。旋盤、フライス、溶接の3工程を内製し、各工程のすり合わせで最適な製品を短納期で納入可能。長年かけて経験を積んだ熟練社員たちの存在こそが、強みの源泉である。試作品は急を要するものもあり、顧客が図面を用意できないまま持ち込まれるケースもあった。それでも



旋盤、フライス、溶接の3工程を内製し、最適生産

発注の意図を理解し、顧客とイメージを共有して作業を進められたのは、ノウハウの蓄積があつたこと。顧客に対して加工方面からの技術アドバイスを提供できることも特徴の一つ。次代の育成にも余念がない。若手技能者に知識や感覚の伝承は必須だ。特に汎用旋盤工は、将来にわたって不足が見込まれる。「作業が早く平年度を出しやすい旋盤は、短納期の試作には欠かせない」として、積極的に人材育成に取り組む。

品質
管理PDCAサイクルの
実践でカイゼン進行中

平成16年には、品質管理の国際規格ISO9001の認証を取得した。「ちょうど創業50年で、将来につながる何かをやりたい」と古野社長は振り返る。狙い通り、品質管理体制を整えるプロセスが、財産となった。「PDCA（計画・実行・評価・改善）の考え方を得たことは非常に大きい」とは営業担当の平田昌弘取締役。国際競争の激化を背景に、試作分野にも低コストの要請が強まっている。職人の暗黙知に依って立つ町工場に、近代的な手法を取り込んで、将来の飛躍に向けた成長基盤を築く考えだ。

今後の
展望20年超ぶりのマシニング
センター導入で将来に布石

平成26年は創業60周年。20年超ぶりにマシニングセンターを導入し、大型化が進む試作機器への対応力を強化する。新規事業分野として医療向けなども構想。未来を切り開く新設備とともに、新たな一歩を踏み出す。

COMPANY PROFILE

電装精機株式会社

大阪
25

ISO 9001

当社の
歴史

創業者は根っからの旋盤職人。商売人ではなかったが、技術力を信じ、がむしゃらに仕事した。その一方で若手職人を育て、会社の基礎も作った。2代目は営業に強く、技術を生かせる仕事を作り、業績を高めた。そして創業60年を目前に、相変わず、技術と誠実さを大事に、今後の発展に向けて、成長の基盤づくりに取り組んでいます。

お客様には「誠実」に対処し、
加工要望にも「誠実」にこたえています。

代表取締役社長 古野 隆史さん



■主な事業内容

半導体製造装置や真空
装置向け精密部品製造

■主な取引先（納入先）

電機メーカー、機械メーカー、研究機関

住 所／〒570-0002
守口市佐太中町
2-7-16
T E L／06-6905-3961
F A X／06-6905-3963
創 業／昭和29年4月
設 立／昭和31年4月
資本金／3,000万円
従業員／11名

<http://www.denso-seiki.jp>